

参考資料2 図書館運営費の考え方

- ◆ 望ましい公立図書館の数値目標

日本図書館協会「日本の図書館2003」で示した望ましい公立図書館の数値目標

は以下の通り。
 【面積】 人口6,900人未満1,080㎡を最低とし、152,200人では1人につき0.03㎡加算
 【蔵書冊数】 人口6,900人未満67,270冊を最低とし、152,200人までは1人につき3.9冊加算
 【開架冊数】 人口6,900人未満48,906冊を最低とし、152,200人までは1人につき1.67冊加算
 【資料費】 人口6,900人未満1,000万円を最低とし、152,200人までは1人につき466円加算
 【職員数】 人口6,900人未満6人を最低とし、152,200人までは100人につき0.041人加算

これをもとに泉大津市の基準値を試算

人口75,000人基準
 【面積】 1,080㎡+2,250㎡=3,330㎡
 【蔵書冊数】 67,270冊+292,500冊=359,770冊
 【開架冊数】 48,906冊+126,750冊=175,656冊
 【資料費】 1,000万円+34,950千円=44950千円
 【職員数】 6人+30.75人=36.75人

- ◆ 人口6～9万の自治体の運営費比較

都道府県	市町村名	人口	面積	専任(兼任)計	職員数		図書館総予算			備考		
					うち司書(兼任)	非常勤臨時(委託派遣)	賃金	運営費	資料費		合計	1人当たり人件費
京都府	京田辺市	70,835	2,649	9	4	15	25,558	34,965	23,997	178,622	10,456	運営費には清掃費、移動図書館費等含む
奈良県	香芝市	77,561	2,035	8	6	10	66,336	38,082	9,945	114,363	8,292	運営費に非常勤職員人件費含む

指定管理型

14,653

141,505

指定管理型

65,059

84,698

- ◆ 全国図書館統計からみた図書館の平均数字

項目	～6万人	～8万人	～10万人	単位
図書館専有面積	3,463	3,299	4,371	㎡
専任職員数	5	9	10	人
内司書	4	6	5	人
非常勤・臨時職員	14	21	18	人
委託・派遣職員	3	6	8	人
図書館全体経費	79,278	108,279	123,591	円
資料費	20,413	26,725	28,824	円
人口当資料費	375	402	327	円

- ◆ まとめ

1 図書館の面積：人材：予算
 人口8万人未満の
 図書館の平均図書館面積は 3, 299㎡
 専任職員は9人、非常勤は20人
 図書館全体経費は、人件費を含めて108, 279千円となる。
 資料費は、26, 725千円となる。

2 泉大津市の7. 5万人に置き換えると以下が目安となる
 面積：3, 029㎡
 専任職員 8. 4人 非常勤 19人(但し、勤務条件で人数は変化する)
 図書館全体経費 101, 511千円

- ◆ 指定管理導入後の効果事例(北九州図書館2003年→2008年)

図書館流通センター	事業費	登録率	貸出冊数(登録者一人当たり)	図書費	図書費(市民一人当たり)
直営時に比べ28%の削減率	直営時に比べ28%の削減率	+5.1%	+1.16冊(16.46→17.26)	直営時に比べ16.05円増加	直営時に比べ16.05円増加
直営時に比べ34%の削減率	直営時に比べ34%の削減率	+5.13%	+0.5%	83%	83%
中央図書館	—	+5.03%	+0.03冊(13.17→12.33)	58.1%	58.1%

出所：北九州教育委員会「北九州市の図書館」2003年・2008年のデータを使用

- ◆ 指定管理制度の導入効果(内閣府平成20年12月内閣府政策統計官(経済財政分析担当))

